

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	住民間の意思疎通が促進され、村落開発により住民の生活環境が改善される
(2) 事業内容	<p>コミュニティセンターの建設・トレーニングの開始が、4月から行われていたインド総選挙の影響で、内外の全ての団体の活動は中止され、ICAで計画していたビハール州での建設関係と駐在員の派遣に遅れが生じたが、現在事業は順調に進んでいる。</p> <p><b>●コミュニティセンターの建設</b> ICAは村落開発委員会と現地提携団体(HCDI)と協議し、住民協力意欲が高い2ヶ村(Gopalpur村、Rohta村)に現在コミュニティセンターを建設中である。日本人建築専門家が6月22日から7月2日まで現地に派遣された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月23日建築業者Mr. Navin Mallickと会見し、質の高いセンターを2戸、完成させることで合意した。</li> <li>・6月24日にDistrict Magistrate of Madhepura Districtを訪問して事業説明をした。日本からの支援を感謝し、将来的に現地の資源を活用した(竹、麻、トウモロコシ)の加工技術についての指導要請を受けた。</li> </ul> <p><b>●コミュニティ・セミナーの開催</b> コミュニティ開発プログラムの概要を説明し、グループに別れて村の問題点を共有し、村の現状を分析した。</p> <p>①モビリゼーションセミナー： Rohta村、Gopalpur村の2ヶ村で、現地マネージャーによりプロジェクトの内容、目的、効果等について説明した。またコミュニティセンターの利用方法、維持管理方法等について話し合いをした。村人たちにプロジェクトへの積極的な協力を呼びかけた。 第1回5月5日Rohta村にて実施、参加者68人 第1回5月6日Gopalpur村にて実施、参加者87人</p> <p>②コミュニティ開発セミナー： Rohta村、Gopalpur村の2ヶ村で、佐藤専門家をから～まで派遣した。コミュニティ・セミナーの実施した。コミュニティの問題を理解するため、経済(農業、工業、商業)文化(居住環境、地域の組織、地域の歴史)社会(教育、医療、家庭)の9つの分野に分かれて、問題を分析し問題解決をしていく。各グループは模造紙に問題点を上げ全体発表をおこなった。 6月25日Rohta村にて実施、参加者73人 6月26日Gopalpur村にて実施、参加者87人</p> <p>③リーダーシップセミナー：9月末に実施予定</p> <p><b>●能力向上トレーニング及び啓蒙活動</b> ①女性自助グループ(Self Help Group:SHG) 経営研修： Ranipatti オフィスの敷地内にてRohta村Gopalpur村の女性グループを集め、講師Ms. Neel Prabhaによる研修を開催した。 28日から30日の3日間の予定であったが、29日は現地の祭りのた</p>

	<p>め急遽2日間に凝縮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月28日/14グループからそれぞれ4、5人が参加 参加総人数68人(Rohta村、Gopalpur村)</li> </ul> <p>現地コーディネーターのリマからこの研修の意義を説明。 様々なゲーム形式で、住民同士の繋がりの大切さを認識させた。 その後、SHGの概念と重要性・特性・より良い機能を働かす為のグループリーダーの役割・SHGの効用と3つの項目に分け、絵を使いながら説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月30日/25グループからそれぞれ2、3人が参加 参加総人数78人(Rohta村、Gopalpur村)</li> </ul> <p>一同が輪になり伝言ゲームを行い、情報の確実さ、真実さがいかに大切か理解をした。その後、SHGの働きの基本方針と利益性(良いグループ経営に必要とされる4つの段階)・SHGの中ですべき事、すべきでない事、成功と失敗の原因について・SHGでの女性の開発、社会的開発と3つの項目に分けて図や絵を用いて説明した。</p> <p><u>※その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業指導用テキストの作成</li> </ul> <p>インド総選挙の影響を受け、コーディネーター大東宏の派遣を延期し、その期間を農業指導用テキストが作成にあてた。『The Essentials of Agriculture Technology for Abundant Village Life』(別添)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月25日</li> </ul> <p>大東宏コーディネーターより、農業指導用テキストを用いて堆肥の作り方を指導した。農家の中庭で、農民を対象に接ぎ木の指導を行い、スタッフには台所の野菜屑、残飯等の廃棄物を農業に利活用するための技術を指導した。</p> <p>②女性の収入向上研修：11月に実施予定 ③有機農業と水耕栽培研修：10月に実施予定 ④青少年及び女性のための技術訓練：8月～10月に実施予定 ⑤幼児教育教師を対象とした研修：11月に実施予定 ⑥演劇による啓蒙活動を行うための研修：11月に実施予定</p>
(3) 達成された効果	<p>●<u>コミュニティセンターの建設</u></p> <p><u>指標</u>ハイカースト中心であった住民会議に、ローカースト利用者数の住民60%が参加するようになる。利用者を記録してリストを作成する。</p> <p>⇒建設：Rohta村コミュニティセンターは窓枠の高さまで完了し、今後屋根に取りかかる。Gopalpur村コミュニティセンターについてはRohta村に続き、順調に作業が進められている。</p> <p>●<u>コミュニティ・セミナーの開催</u></p> <p><u>指標</u>65%以上の参加者が地域の実情を理解し、問題解決への協力体制が構築される。リーダーが役割を認識し、現地政府に提案できるようになる。リーダーの役割はセミナーで確認しフォローアップする。</p> <p>⇒モビリゼーションセミナー：</p>

	<p>《達成度》 2か村の参加者 50 人の予定に対して、それぞれ 68 人、87 人が参加した。155 人の参加者のうち 120 人の参加者は、コミュニティセンターの重要性を明確に理解し、定期的にセンターを使用し、維持していくための役割を受け入れた。</p> <p>⇒コミュニティ開発セミナー： 《達成度》2か村参加者 50 人の予定に対して、それぞれ 73 人、87 人が参加し、以下の問題が話された。住居が良くない、非衛生的環境、電気がない、病院がない、汚染された飲料水、先生の質の問題、マーケット不足、農産物を売る価格を住民が決めるのではなく、中間業者が不当な価格で設定をしている、地主による搾取、ジェンダー等の問題があげられた。これらの問題解決を第2回のセミナーで話し合う。</p> <p><b>●能力向上トレーニング及び啓蒙活動</b></p> <p><b>指標</b></p> <p>①女性自助グループ (Self Help Group) 経営研修 経営研修を受けた 77 の女性自助グループがビジネスをスタートさせるためにグループの銀行口座を開設し、その内 40 グループ (200 人) が実際に収益を上げる事業を行う (アンケート調査)。</p> <p>《達成度》 39グループからリーダーを含む選抜された146名が参加した。参加した 146 人の女性が、通常の活動運営の中での、会合の行い方、組織の活動、リーダーシップの役割の引継ぎなどを学んだ。</p> <p>④青少年及び女性のための技術訓練 コルカタ市にある St. Stephen Vocational Trainig school に第1期に 8 名の訓練生が派遣され、2年間の技術訓練を受けている。</p>
(4) 今後の見通し	<p>SHGs が彼女たち自身で定期的な会議や、ディスカッション、貯蓄などを行っているかを確認するために、継続的にフォローアップを行う。</p> <p>①リーダーシップ研修：9月末 ②女性の収入向上研修：11月に実施予定 ③有機農業と水耕栽培研修：10月に実施予定 ④青少年及び女性のための技術訓練(ミシン)：8月～10月に実施予定 ⑤幼児教育教師を対象とした研修：11月に実施予定 ⑥演劇による啓蒙活動を行うための研修：11月に実施予定</p>